

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第140号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年3月21日 06時30分ごろ	
発生場所	岡山県水島港 JFE スチール(株)製品岸壁沖付近	
事故等調査の経過	平成21年5月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 押船 第三 <sup>きよ</sup> 清丸、160トン 134739、岡本汽船株式会社 B はしけ JFE N3、6,559トン なし、岡本海運株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長、四級海技士（航海） B なし	
死傷者等	なし	
損傷	A 船底部擦過傷 B 船底部擦過傷	
事故等の経過	A船は、B船を押し、水島港 JFE スチール(株)西日本製鉄所製品岸壁沖で、左舷出船係留で着岸するために右転しようとしたとき、高梁川上流より反航船を認め、これを避けるために左転したところ、平成21年3月21日06時30分ごろ、同岸壁沖の浅所に乗り揚げて船底部を擦過した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 船長は、反航船を避けるため、左転しようとした際、左舷側に浅所があることを知っていたが、浅所までの距離を適切に把握していなかったものと考えられる。
原因	本事故は、A船がB船を押し、水島港 JFE スチール(株)西日本製鉄所製品岸壁沖で着岸作業中、反航船を認めて避航する際、浅所までの距離を確認していなかったため、A船及びB船が同浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	